

東北地方 1か月予報

(1月31日から2月28日までの天候見通し)

平成21年1月30日
仙台管区気象台発表

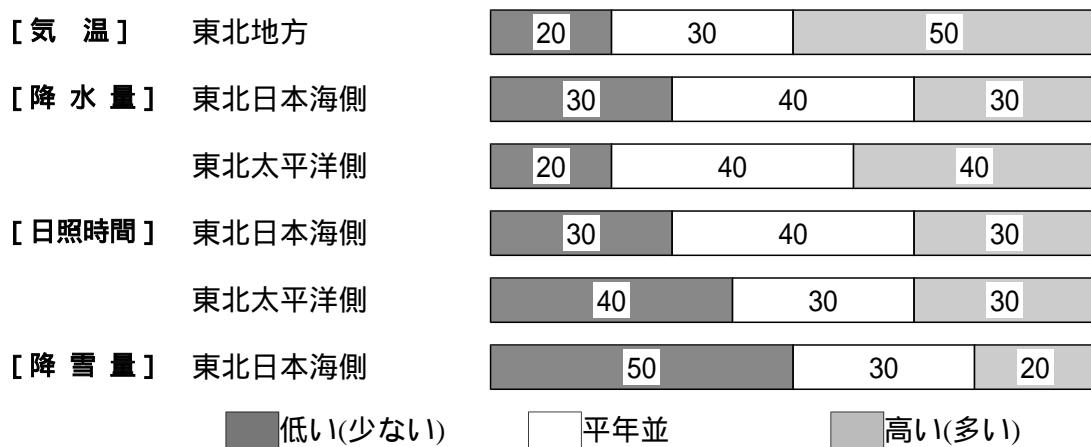
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

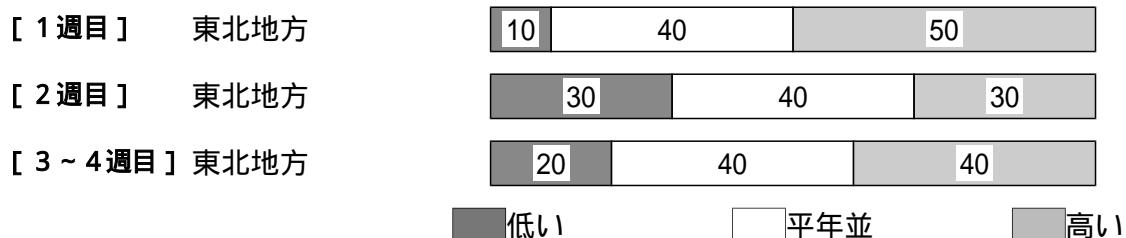
向こう1か月の平均気温は高い確率が50%です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。東北日本海側の降雪量は少ない確率が50%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 1月31日(土) ~ 2月28日(土)
1週目 : 1月31日(土) ~ 2月 6日(金)
2週目 : 2月 7日(土) ~ 2月13日(金)
3~4週目 : 2月14日(土) ~ 2月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は2月6日
3か月予報:2月25日(水) 14時
暖候期予報:2月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.2	118.1	75.1	210	-1.9	-1.5	-0.7
深浦	-0.3	77.9	49.9	119	-1.0	-0.6	0.1
むつ	-1.6	85.7	94.6	171	-2.2	-1.9	-1.1
八戸	-0.9	52.8	136.5	106	-1.7	-1.3	-0.5
秋田	0.1	93.3	66.9	121	-0.5	-0.1	0.5
盛岡	-1.6	54.4	133.3	99	-2.5	-2.0	-1.1
大船渡	0.9	55.9	146.6	29	0.2	0.6	1.2
宮古	0.2	76.9	157.2	71	-0.4	0.0	0.6
仙台	1.7	47.3	156.5	35	1.0	1.5	2.1
石巻	0.9	42.9	168.8	22	0.1	0.6	1.3
山形	-0.2	69.7	102.4	151	-0.9	-0.5	0.1
新庄	-1.0	147.1	57.9	248	-1.6	-1.2	-0.6
酒田	1.4	116.6	61.5	122	0.9	1.2	1.8
福島	1.8	49.3	150.2	68	1.0	1.5	2.2
若松	-0.4	69.0	99.7	163	-1.1	-0.7	0.0
白河	0.4	40.0	159.3	52	-0.3	0.2	0.9
小名浜	3.7	59.4	180.5	0	3.1	3.4	4.0

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	79～110	96～104	80～115
東北日本海側	-0.3～+0.5	92～108	91～107	89～114
東北太平洋側	-0.4～+0.6	64～117	99～103	73～117

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.8	-0.8～+0.9	-0.6～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.8	-0.8～+0.9	-0.6～+0.7
東北太平洋側	-0.5～+0.9	-0.7～+0.9	-0.5～+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年1月30日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月31日~2月28日):

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(1月31日~2月6日):

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の日が多いですが、期間の終わりには晴れる日があるでしょう。東北太平洋側では、期間のはじめは気圧の谷の影響で雨や雪の降る日がありますが、その後は沿岸部を中心に晴れる日が多い見込みです。

なお、期間のはじめは発達しながら通過する低気圧の影響で大荒れの天気となるおそれがあります。

平均気温は高い確率が50%です。

2週目(2月7日~2月13日):

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(2月14日~2月27日):

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

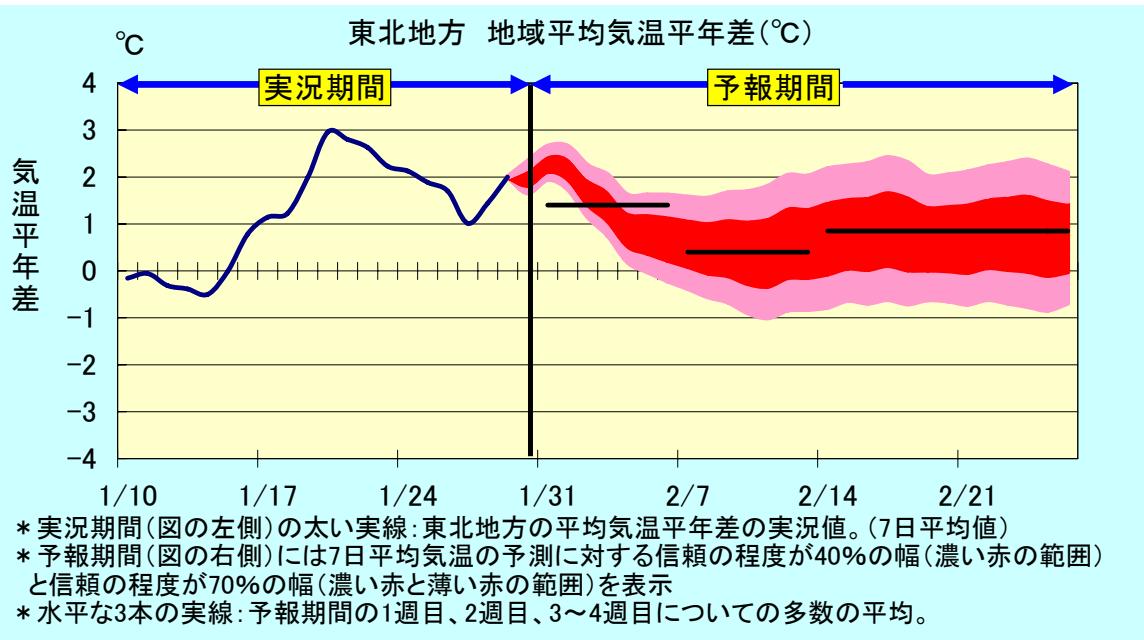
平均気温は平年並または高い確率とともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.3日	1.3日	1.4日	3.6日
東北太平洋側	17.9日	4.6日	4.7日	8.6日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、3~4週目はともに平年を上回り、2週目は平年付近の予想となっている。

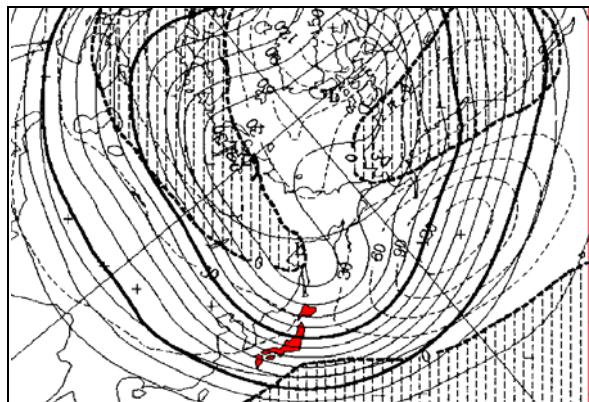


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は東西に広く正偏差で、ユーラシア大陸の中緯度付近と北太平洋は顕著な正偏差となる。日本の南東海上は負偏差。東北地方への寒気の影響は小さく、高温傾向が見込まれる。

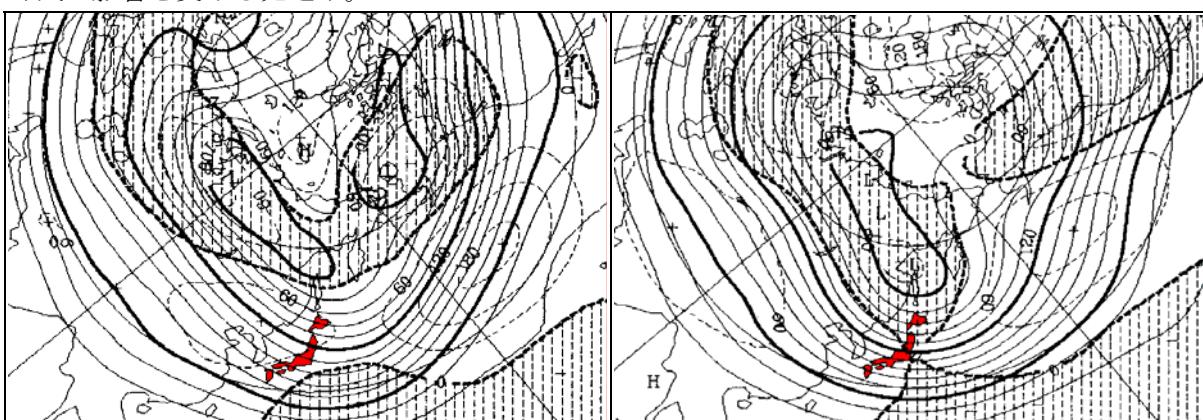
1週目: 日本付近の中緯度帯は東西に広く正偏差。東北地方には中国東北区を中心を持つ正偏差がかかる。北太平洋の日付変更線付近も強い正偏差域があり、日本付近への寒気の影響は小さく、高温傾向が見込まれる。

2週目: ユーラシア大陸の中緯度付近と北太平洋は正偏差となるが、東シベリアを中心を持つ負偏差が、北日本以北にかかる。東北地方は一時寒気の影響を受ける見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

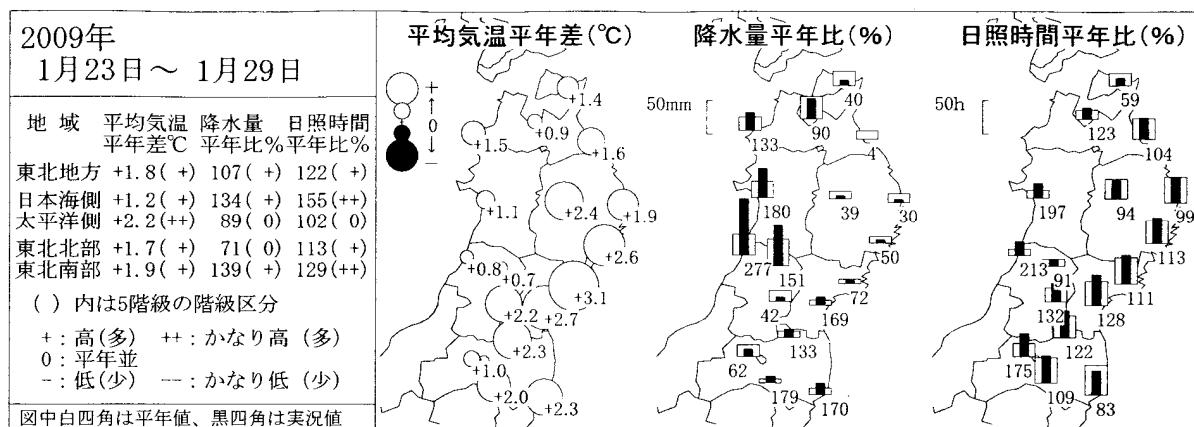
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（1月23日～1月29日）の天候の経過

この期間、23日は南岸低気圧や前線の通過により雨や雪となった。前線の通過後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪となった。東北太平洋側でも24日には雪となったが、その後はおおむね晴れた。期間の後半は冬型の気圧配置は弱まり、28日から29日は移動性高気圧に広くおおわれおおむね晴れた。なお、東北地方への寒気の南下は弱く平均気温は高くなかった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）